

頂妙寺二天門

当寺の大門に安ずるは、東の方は持国天、西の方は多聞天にして、両像ともに長七尺許、運慶安阿弥の両作なりとぞ。かるが故にこれを二天門と号す。此尊天靈験あらたなるが故に、陰晴をいはず朝より暮に至るまで諸人しばしの間漸なく、老若男女群つどひて、かちはだしにて門をめぐり千度をこつことおびただし